



AMU

Asahikawa Medical University

旭川医科大学大学院医学系研究科修士課程
〔看護学専攻〕

修士（看護学）の学位

大学院は学問的な挑戦と自己成長の場であり、自身の能力を最大限に引き出すことができます。より高度な専門知識を習得する機会が与えられます。

学士課程では広範な知識を獲得することが一般的ですが、大学院では特定の分野に特化して学ぶことができ、その専門知識の獲得は、将来のキャリアや研究において重要な要素となるでしょう。

特に、研究開発や教育、専門職などの分野では、高度な学位を持つ候補者が求められることがあります。大学院の学位は、自身のキャリアパスを拡大し、将来の雇用機会を広げることができますので、この機会にぜひとも学位の取得を目指してみませんか。



一步先の看護学

教育方法の特例

大学院修士課程では、大学院設置基準第14条「教育方法の特例」を適用し、有職者が離職することなく修学することが可能となるよう、有職者に配慮した教育を実施しています。

教育方法の特例としては、夜間、土曜日、夏季・冬季休業中に開講する講義等を履修することができ、研究指導もうけることができます。なお、履修及び研究指導の形態は、科目責任者および研究指導教員と相談のうえ決定することになります。

長期履修学生制度

大学院修士課程では、お仕事・出産・育児等の事情によって、標準修業年限（2年）を超えて一定の期間（3年または4年）にわたり、計画的に教育課程を履修し、修了することを願い出た者については、審査のうえ、これを許可する制度を設けています。

この制度の適用者を「長期履修学生」といい、当該学生の授業料総支払額は、標準修業年限による修了者と同額となります。

オンライン・ハイブリッド授業

本学の大学院では、対面による授業のほか、オンライン・ハイブリッド授業も実施していますので、場所や時間に制約されずに受講できるため、柔軟性とアクセス性が向上します。遠隔地に住んでいる学生や仕事との両立が必要な方にとっては特に便利で自身のペースで学習を進めることが可能です。

また、ビデオ面談やオンラインプラットフォームを活用することで、教員とのコミュニケーションや他の院生とのグループ学習も可能となります。

これらは、自己管理能力や自己学習能力の向上にもつながり、教材やコンテンツの再生や繰り返しの閲覧が可能なため理解度の向上に役立つでしょう。

専門領域の特徴

健康教育開発学

健康教育開発学は、自分自身や周りの人々の健康に関する知識の獲得や行動の改善をととして、個人やコミュニティ全体の健康状態を向上させるための教育戦略やプログラムの開発に焦点を当てた学問分野です。この分野では、健康の促進、予防医学、健康リテラシーの向上、健康に対する意識の向上などを目指します。そのため、公衆衛生学、疫学、心理学、行動科学、教育学、社会学など、幅広い学問分野との交流を通じた政策立案や、環境づくりにまで拡大したヘルスプロモーション活動に貢献し得る様々な技術や方法の開発手法を学びます。

基礎看護学

基礎看護学では、看護実践能力、看護診断・臨床判断、看護技術など看護・看護学の基盤となる内容を広く取り上げてゼミ形式で深めていきます。院生の看護実践から生じたクリニカルエスチョンを大切に、研究手法を学びます。近接する領域である看護管理や看護教育に関連したテーマで研究を行った院生も多くいます。

成人看護学

成人看護学は、成人期の健康と療養に対する包括的なケアを焦点にした看護の専門分野です。この領域は、成人が直面する一般的な健康問題および慢性期、急性期の疾患に対する看護師の役割や適切なケアの提供に向けスキルを追求します。患者中心のケア、エビデンスに基づく実践、チームベースのケアなど現代のヘルスケアの中心的原則を学び、研究テーマを練っていきます。

高齢者看護学

高齢者看護学は、高齢者の健康と生活に焦点を当てた看護の専門分野です。この学問は、老年期に特有の身体機能及び認知機能の低下といった生理的加齢による変化や疾患による健康障害、及び生活障害に対する理解を深めることを目指しています。フレイルなどによる廃用症候群、脳血管疾患による寝たきりや排泄障害、認知症による生活障害、高齢者虐待など、高齢者が直面する身体的・心理社会的問題を多角的に教授し、これらの課題に関する知識とスキルを提供します。



小児・家族看護学

小児・家族看護学は、子どもとその家族の健康と看護に特化した専門分野です。この領域では、様々な健康レベルにある子どもの成長・発達、身体的・心理的・社会的ニーズ、生活に焦点を当てます。そして、その子どもを育む家族、社会にも注目します。

小児・家族看護学では、「子どもへのDeath Education」「子どもを亡くした母親」「入院している小児がんの子どもや高度急性期医療を受ける子ども」「在宅で生活する医療的ケア児」「小児看護を担う看護師」などの研究に取り組んでいます。少子社会の現代において、子どもと家族の権利が守られ、最善の利益を享受できるようにすることを小児・家族看護学研究者の使命として、看護の専門性を高めていく分野です。

母性看護学・助産学

本領域は、妊娠・出産・育児に関する看護分野、リプロダクティブヘルス・ライツに関する母性・助産分野を網羅する幅広い範囲が相当します。1年次の特論では、母性看護学・助産学の基盤となる理論、助産実践能力の範囲、本領域に関する教育や研究の動向、履修生の研究課題に関係する専門知識の探求などを能動的な学習方法で学びます。演習では、特論での学びを活かし履修生の研究課題に関連した文献の紹介やクリティークを行い、研究に必要な倫理規範も学修しながら年度末までに研究計画書を作成します。2年次は研究計画書に従い研究を実施し、1月までに論文作成を行います。指導教員の研究歴は主に量的研究で、調査研究、尺度開発、OSCE（母性看護学、助産学）の開発と評価、継続教育プログラムの開発等を実施してきました。履修生の研究デザイン・目的を一緒に検討し、履修生が達成可能な研究を支援します。

精神保健看護学

精神保健看護学は、全ての精神的健康状態を対象とし、心理的苦痛に焦点を当てた看護の専門分野です。この学問は、人間の行動、感情、認知に関する理解を深めることを目指します。具体的には、精神的健康評価、クライシス介入、精神障害の識別と管理、精神薬理学、心理療法、家族やコミュニティへのケアなどについて学びます。そして到達目標として、日々の生活でのストレス管理、健康的な生活習慣の促進、回復への支援など、予防ケアと健康促進にも重点を置き生涯発達を目指していきます。

精神障害との関連においては、精神障害を有する方との効果的なコミュニケーション、リハビリを支える援助、尊厳の保持と生活の質の向上、エビデンスに基づくケアのなど、医療保健福祉にかかわる重要な原則を追求します。

公衆衛生看護学

公衆衛生看護学は、個人、集団、地域の健康に焦点を当てる看護の専門分野です。個々のケアから一歩進んで、地域の健康に影響を与える要因を分析しコミュニティ全体の健康を改善する役割を果たします。研究としては課題になるか、ならないかわからない潜在的なものも含め地域の健康課題となるものを幅広く行っています。主に行政の保健師が取り組むテーマが多いですが、看護師、助産師、福祉職の方々も公衆衛生看護の視点を学び幅広く多様なテーマで研究しています。

在宅看護学

在宅看護学は、疾病や障害、加齢に伴う変化などを有する全ての人々と家族に対して地域で生活する場での生活の質向上や日常生活の自立を目的とした看護です。医療と福祉における看護と介護が連携し、療養者と家族が情報とサポートを得て、個人に適した人・制度・社会資源の活用を総合的に理解し、多岐に渡るケアで在宅療養継続を支援します。



がん看護学

がん看護学は、がん患者とその家族が直面する身体的、心理的、社会的、スピリチュアルな健康課題を理解し、これらに対処するための包括的なケアを提供する看護の専門分野です。この分野は、がんの予防、早期発見、治療、緩和ケア、そして、がんサバイバーのケアまで、がんケアの全スペクトルにわたる知識とスキルと感性を必要とします。

がん看護学の主な学習領域は、生活の質の改善をコアとし、疾患知識、がん薬物療法や放射線療法の管理、症状マネジメント、緩和ケア、心理的サポート、患者と家族の教育などです。これらの活動は、がん患者と家族ががん診断から始まる治療の過程を効果的に管理し、最善の生活の質を維持するのを支援します。



入試日程

出願期間	令和6年 1月25日(木)~1月31日(水)必着	
試験日	令和6年 2月14日(水)	
合格発表日時	令和6年 3月 6日(水) 10:00	
試験科目等	科目等	時間
	集合時間	12 : 50 まで
	諸注意	12 : 50 ~ 13 : 00 (10分)
	小論文	13 : 00 ~ 14 : 30 (90分)
	口述試験	14 : 45 ~

総合案内窓口

出願資格や本学の研究領域一覧は募集要項をご覧くださいませよう願ひいたします。

また、以下の窓口では(初回はメールのみ)、専任の看護教員や事務職員がさまざまな質問に回答いたします。研究したいテーマのことや、教育方法の特例、長期履修制度に関すること、また、どの教員が自分の研究にマッチするかなど適切に回答いたします。ご遠慮なく下記メールにご質問をお寄せください。

✉ kango-syushi@jimu.asahikawa-med.ac.jp

募集要項は、旭川医科大学受験生サイトにPDFで掲載しております。

https://www.asahikawa-med.ac.jp/admission/exam/grad_app_guidebook/
募集要項の取り寄せについては、本学HP受験生サイトの右上資料請求からご依頼願ひます。

